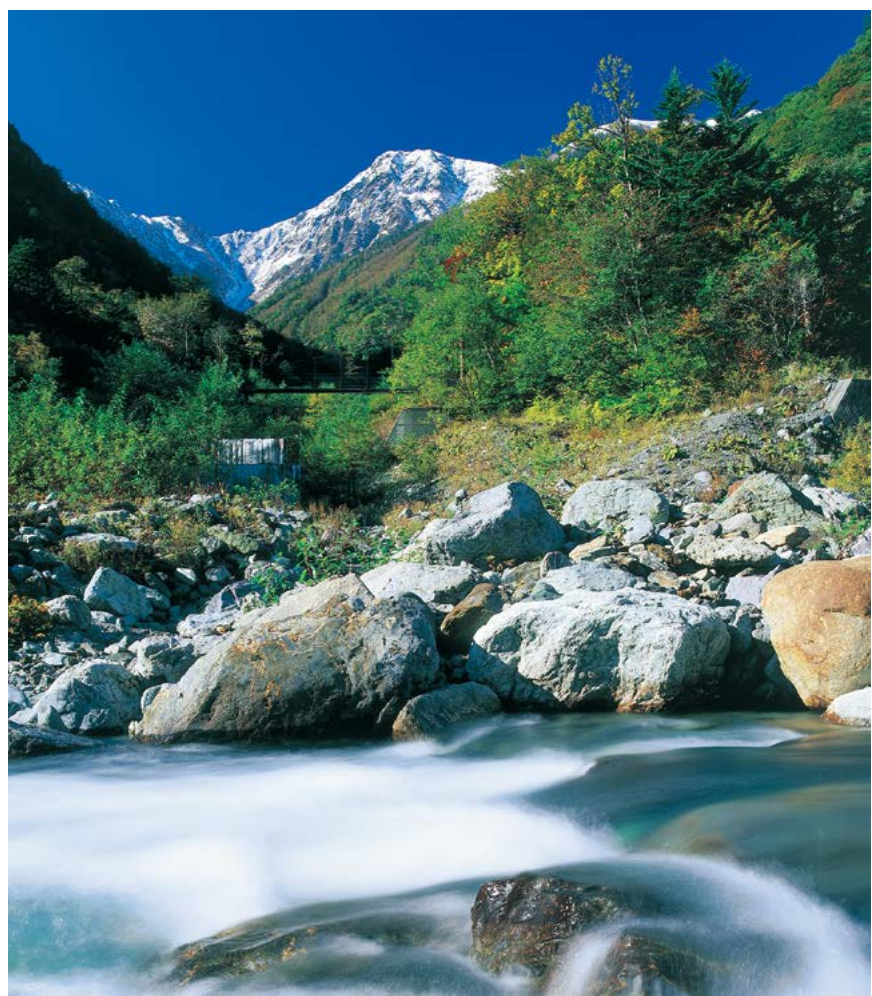


次代へつなげる
安心と豊かさをいつまでも



山梨の公営企業
50周年記念

The 50th Anniversary

やまなしの暮らしを 守り続けて50年

山梨県の公営企業は
昭和31年の発足以来、50周年を迎えました。
クリーンエネルギーを生み出す
電気事業を中心に、
事業活動は多岐にわたります。
その成果は県民の生活を守り、
より豊かな社会へと、着実に実を結んでいます。
公営企業の独自性を最大限に活かし、
今、そして未来に向けて、
企業局はこれからも、
県民とともに歩んでいきます。



The 50th Anniversary



Contents

ごあいさつ	2
企業局のあゆみ	4
電気事業	6
温泉事業	11
地域振興事業	12
有料道路事業	13
経営改革	14
資料編	15



ごあいさつ

富士山や南アルプス、八ヶ岳、奥秩父山地などの壮麗な山々に囲まれているわが山梨では、これらの広大な山塊から流れ出る豊富な水を天然資源として授かり、古くより多くの人々の暮らしを潤してきました。

本県の公営企業は、こうした自然の恵みを電力産業として形づくるために早川水系における電源開発事業として、昭和31年に誕生しました。

以来、水力発電事業を核として、県民や地域の皆様方の御理解と御協力のもと、幾多の困難を乗り越え、事業を拡大・発展させ、県民生活の推進のため、有料道路事業や温泉事業、さらには地域振興事業へと事業展開を図り、公営企業としての独自性を活かして、県政の重要な一翼を担って参りました。

現在、県では、目指すべき県土像として、「誇れる郷土 活力ある山梨」を掲げ、その実現に向け、長期総合計画「創・甲斐プラン21」を策定し、各般の施策に積極的に取り組んでいるところであります。

こうした社会の実現のためには、その基礎となるエネルギーの確保がきわめて重要であり、世界的な課題である地球温暖化の防止のために企業局の推進する水力発電、太陽光発電等のクリーンエネルギーは欠くことのできないものです。

水と空気の時代であると言われる21世紀においては、「森の国・水の国」である山梨が、その機能をますます充実させるための施策が重要であり、そのための環境公益林の整備を推進しています。

電気事業の収益は、その資金として還元されており、自然の恵みから得られた収益が活用されていることは、大変に意義深いことであります。

このたび、県の公営企業は、発足50周年という記念すべき時を刻むこととなりました。今後とも、本県公営企業が県民福祉に貢献する公営企業として発展できますよう、県民の皆様方の御理解と御協力をお願い申し上げます。

山梨県知事 **山本 栄彦**



発刊にあたって

山梨県の公営企業が発足して今年で50周年を迎えました。

昭和20年代、県西部の野呂川(早川水系)総合開発の柱として電源開発が始められたことにより、そこで立ち上げられた県公営企業は、その後、発電事業を展開していく中で笛吹川水系総合開発(広瀬ダム建設)へ繋がりました。

また、富士スバルラインなどの有料道路事業、旧石和町地区で掘削した源泉を給湯する温泉事業、丘の公園の建設・経営などを手がける地域振興事業へと経営内容を拡大して(有料道路事業は平成9年度から県道路公社に事業移管)、今年9月で50年の節目を迎えることになりました。

この間、電気事業では地域の総合開発に大きな役割を果たすとともに、公営電気事業として全国有数の規模でクリーンエネルギー(水力発電)の供給を継続してきました。また、有料道路事業では県内道路網の整備を補完し、温泉事業では観光地の基盤整備を担うとともに、地域振興事業では県民に保健休養の場を提供してきました。

これらの事業経営を通じては、発電所や県道、石和温泉の給湯施設、丘の公園などさまざまな県有財産を県内各地に建設するとともに、交流機会を増加させることで観光や地域振興に寄与するほか、雇用の場を提供するなど地域経済の発展に寄与してきました。

さらに、事業で得られた利益を県の一般会計が実施する事業への資金融資やミレーの絵画「種をまく人」を購入して県民の鑑賞に供するなどの形で還元し、さまざまな面で県民福祉の向上に力を尽くして参りました。

その時々時代の要請に応えながら、県公営企業は、独立採算性を旨として県行政を補完する役割を果たしてきました。今後も、県公営企業は、「誇れる郷土 活力ある山梨」の実現に向け、引き続きこうした役割を果たしていけると信じています。今後とも県民の皆様のお支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

山梨県公営企業管理者 堀内 順一

企業局のあゆみ

1997~2006 (H9~H18)

新しい ステージづくりの10年

人々の暮らしに欠かせない電気エネルギー事業を中心に据え、地球規模での緊急課題である地球温暖化防止のためにクリーンエネルギーの普及啓発事業にも注力してきた10年間でした。また、経営の合理化策として、発電施設の監視制御の一元化や計画的な設備改修による近代化、及び丘の公園管理公社を解散して民間事業者による管理の代行に移行させることで、大幅なコストダウンも実現しました。今後もさらに、新しい時代の潮流に合わせた戦略的事業展開を推し進めていきます。



企業局10年のあゆみ

- | | |
|-------------|---|
| 平成9年 3月31日 | 御岳昇仙峡有料道路無料開放式 |
| 4月 1日 | 有料道路事業を道路公社へ移管 |
| ----- | |
| 平成10年 1月30日 | 山梨県企業局将来ビジョン
(企業経営指針) 策定 |
| 3月15日 | 奈良田第二発電所機器改修工事完成
塩川発電所建設工事完了 |
| 3月30日 | 発電総合制御所竣工式 |
| 4月 1日 | 発電総合制御所設置
塩川発電所営業運転開始 |
| ----- | |
| 平成11年 3月15日 | 野呂川発電所機器改修工事完了 |
| 4月 1日 | 丘の公園管理公社に、県職員からの公募による総支配人の配置、及び民間企業の顧問を経営アドバイザーとして招聘し、民間経営ノウハウを導入 |
| 5月30日 | アクアリゾート清里開館3周年を記念した「アクアリゾート清里ファンファンウォーク」をはじめて開催 |
| 7月 1日 | 早川水系取水口監視所設置 |
| ----- | |
| 平成13年 1月24日 | 石和町内に高温多量の温泉が湧出して40周年を迎えた |
| 3月 | 新地域振興事業会計経営健全化計画を策定 |
| 3月27日 | 小屋敷第一及び第二発電所改修工事完了 |
| 3月31日 | 塩川発電所管理・釜無川発電調査事務所廃止 |
| 10月17日 | レストハウス「編笠」事業廃止 |
| ----- | |
| 平成14年 1月31日 | 石和温泉第6号源泉ボーリング工事着手 |
| 3月15日 | 鼓川発電所改修工事完了
丘の公園ロッカールーム増築完成及び県産材を使用したロッカー購入 |
| 6月 2日 | 石和温泉第6号源泉ボーリング工事完了 |



第6号源泉自噴の様子

History

社会情勢	企業局10年のあゆみ	社会情勢
<ul style="list-style-type: none"> ○中部横断自動車道、県内部分の起工式 ○消費税5パーセントに引き上げ ○県内で観測史上最高の積雪、甲府で49センチ ○雁坂トンネルが掘削開始から10年で開通 ○長野冬季五輪開幕 ○インド、パキスタンが相次いで地下核実験 ○リニア実験線のリニアモーターカー、鉄道世界最高速度、時速552キロを記録 ○臓器移植法に基づく国内初の脳死移植 ○日の丸を国旗、君が代を国歌とする国旗国歌法が成立 ○欧州単一通貨「ユーロ」誕生 	<p>平成15年 3月19日 地域振興事業(丘の公園)検討委員会から、民間企業の参画を得た新たな経営・運営体制を整えることが必要であるとの報告書が提出される</p> <p>3月31日 石和温泉第6号源泉完成(67℃毎分340リットル湧出)</p> <p>4月 3日 石和・春日居温泉わくわくまつり開催(~5/5)</p> <p>10月 8日 指定管理者制度導入のため9月定例県議会において山梨県公営企業の設置等に関する条例の一部改正</p> <p>10月31日 奈良田地区排水対策事業完成</p> <p>12月12日 「(株)清里丘の公園」を指定管理者に指定</p> <hr/> <p>平成16年 3月31日 (財)丘の公園管理公社解散</p> <p>4月 1日 (株)清里丘の公園による「丘の公園」管理業務の代行が開始される</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ごみ減量化県民運動「やまなしエコライフ宣言」 ○米英のイラク戦争、フセイン元大統領を拘束 ○新型肺炎SARSの世界的流行で死者700人以上 ○個人情報保護法が成立 ○7月/猛暑が続き甲府で40.4度の観測史上全国2位を記録 ○北朝鮮による拉致被害者曾我ひとみさん一家が帰国 ○地方交付税が過去最大の減額 ○一葉の五千円札登場 ○アテネオリンピック日本金メダル16個の快挙 ○スマトラ島沖地震発生-インド洋周辺各国で死者・行方不明者約30万人 ○新潟県中越地震が発生
<ul style="list-style-type: none"> ○県内に記録的豪雪 ○行政改革で中央省庁1府12省庁に ○ハワイ沖で宇和島水産高の漁業実習船、米原子力潜水艦と衝突 ○米中枢同時テロで死者、不明者3,000人を超える ○家電リサイクル法がスタート ○中部横断自動車道双葉ジャンクション~白根間が完成し初の供用 ○雪印食品が輸入牛肉を国産と偽装工作 ○W杯サッカー日韓共同開催、日本が決勝トーナメントに ○日朝首脳会議、拉致被害者が帰国 ○イラクの大量破壊兵器疑惑で国連査察再開 	 <p>丘の公園 バターゴルフ場</p> <hr/> <p>平成17年 1月26日 クリーンエネルギーセンター普及啓発活動が、第4回エネルギー財団会長賞を受賞</p> <p>3月23日 電気事業の利益を環境保全事業を通し広く県民に還元することを目的とする1億円の繰出金を含む平成17年度電気事業会計予算が県議会で議決される</p> <p>12月 県の第二次行財政改革プログラム(平成17年~平成21年)に、電気事業、温泉事業、地域振興事業の3事業を位置付ける</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○平成の大合併がピークに進む ○愛知万博(愛・地球博)開催 ○福知山線(JR宝塚線)で快速列車脱線・衝突事故 ○つくばエクスプレス秋葉原駅~つくば駅間開業 ○第44回衆議院議員総選挙-自由民主党が300議席にせまる圧勝 ○郵政民営化関連法案が成立 ○VF甲府、悲願のJ1昇格 ○マンション耐震強度偽装問題が発覚
	<p>平成18年 3月 総務省の通知に基づく「経営の総点検」を実施</p> <p>10月 山梨県企業局中長期計画を策定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○トリノ冬季オリンピック開催 ○北朝鮮ミサイル発射、7発日本海着弾

電気事業

発電総合制御所(クリーンエネルギーセンター)



クリーンエネルギーセンター



制御室

平成10年4月の運用開始以降、県下にある17の発電所をはじめ、今後開発される県営発電所をここで集中監視制御しています。また、施設内には水力発電、太陽光発電、風力発電などクリーンエネルギーに関する体験型情報スペースがあり、子供から大人までたくさんの人たちに理解を深めていただく活動も行っています。



ソーラーパネル



展示室



中小水力開発

地球温暖化防止が世界中で叫ばれる中、クリーンな自然エネルギーである水力発電は、ますます注目されています。このため、塩川ダム建設に伴う塩川発電所の運転開始（平成10年4月）、琴川ダム建設に伴う琴川第三発電所の再開（平成20年4月運転開始予定）など、発電能力の向上に努めています。



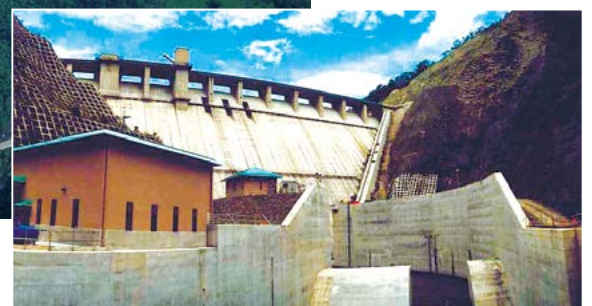
琴川ダム



導水路管から琴川第三発電所敷地を見下ろす



塩川ダム



塩川発電所

施設の近代化

ライフラインである電気を確実に発電し供給し続けるために、平成10年から平成15年にかけて、早川水系に取水口監視所を設けたほか、ITVや可動スクリーンの導入により遠方監視制御を行うなどの近代化を行うとともに、老朽化している発電設備の改修を計画的に進めています。

●早川水系取水口監視所



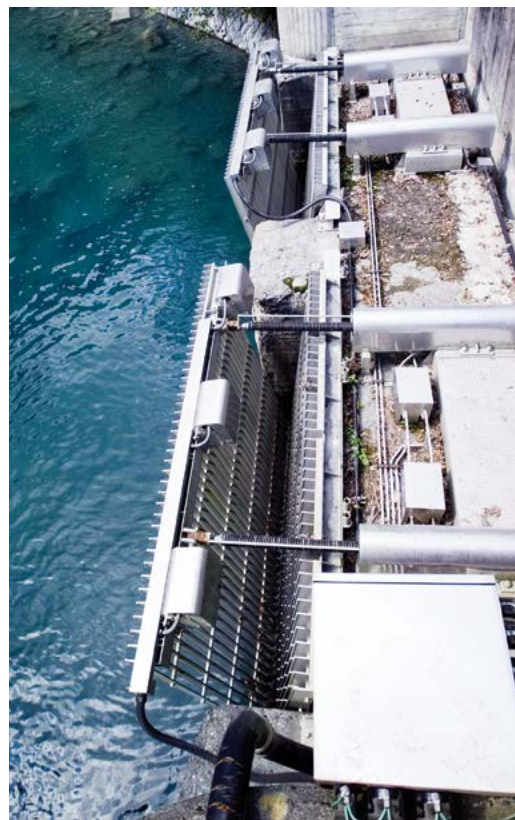
制御盤



監視所外観



取水口監視用カメラ (ITV)



取水口可動スクリーン上部 (荒川取水口)

● 発電所の改修

小屋敷第1発電所

導水路、機器等を全面改修し、1,200kWから1,300kWへ出力増加



施設外観



水車発電機

小屋敷第2発電所

導水路、機器等を全面改修し、880kWから900kWへ出力増加



施設外観



水車発電機

鼓川発電所

機器を中心とした大幅な改修を行うとともに、高圧一般配電線を通じての電力供給に変更



施設外観



水車発電機

西山発電所

建設後、はじめて主要変圧器を更新



施設外観-改修前



改修後

クリーンエネルギー 啓発事業



親子クリーンエネルギー工作教室

利便性の高い現代社会では、その快適な暮らしを支えるために膨大なエネルギーが消費されています。エコロジーや省エネの意識を子供のうちから育み、よりよい未来を創造していけるように、県民の皆様に向けてさまざまなクリーンエネルギー啓発活動を展開しています。



ゴロンキーズ



夏休み電気教室



クリーンエネルギーフェスティバル



新エネルギー大賞の受賞（平成17年1月）



平成17年11月に植樹した宇宙桜が開花